

「共に学び 支え合い みんなで創る 日の出町の教育」

「まちの魅力が学校を育てる 学校づくりはまちづくり」

令和6年7月2日



コミュニティ・スクール

日の出町CS通信 No.2

日の出町コミュニティ・スクール創設準備連絡協議会事務局

令和6年6月19日（水）午前 10 時から、日の出町教育センター2階多目的会議室において、第2回日の出町コミュニティ・スクール創設準備連絡協議会を以下の内容で開催し、事務局からの説明、質疑が行われました。

1 全国の実践事例の紹介について

（1）動画視聴

○お伝えします。コミュニティ・スクールの魅力！

（川西市東谷中学校学校運営協議会の取組）

○貝ノ瀬滋 文部科学省参与に聞く！ コミュニティ・スクール

（2）事例紹介（コミュニティ・スクール 2015 より）

○地域に支えられ、地域を支える学校づくり（岡山県矢掛町教育委員会）

○学校支援センターを核としたコミュニティ・スクールの創造（高崎市立吉井西小学校）

○地域やボランティアの方々と共に子どもたちを支えるために（京都市立小栗栖小学校）

2 日の出町コミュニティ・スクールについて

（1）基本理念

（2）取組の方向性

（3）学校運営協議会による学校運営の仕組

（4）学校評議員会との関係



川西市東谷中学校学校運営協議会の取組



貝ノ瀬滋 文部科学省参与に聞く！
コミュニティ・スクール

ご参加いただいた委員から以下のようなご意見・ご質問・ご感想をいただきました。

委員からのご意見・ご感想等の概要

(委員)

- 動画についてとても分かりやすい。人口・学校等が多いとコミュニケーションが取りづらいため、日の出町は適正規模と思われる。日の出町のことを考えると、本協議会は町の利点を生かす良い機会と思われる。
- 基本理念の明確化が大切と考える。学校管理職の応援団であるCSの存在の浸透性がないと進めることが難しい。また、運営にあたり強いリーダーが必要であり、そのためにも、周知活動とビジョンの共有は重要と思われる。保護者は働き世代であり、家庭が中心となっていてほぼ学校任せとなっている。また、PTA活動についても価値観の相違のあるのが現状である。

(事務局)

- 「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議最終まとめ（令和4年3月14日コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議）で、コミュニティ・スクールの成果と課題として、「学校運営協議会委員のリーダーが不足している。」「制度の理念が浸透していない、誤って認識されている。」等の課題が挙げられている。教育委員会が一方的に制度を導入するのではなく、本協議会で、皆様の意見を聴きながら、進めていきたい。

(委員)

- コロナ禍の影響で、地域の様々な活動で、情報提供のみで交流が減っている。地域との関わりが少なくなっている中、学校運営協議会での地域とのかかわる機会は貴重である。

(事務局)

- 顔と顔が見える関係性の構築が大切だと考えている。

(委員)

- 教育・教養の理念について、「教子育自・教自養地」の考え方が必要と考える。

(事務局)

- 学校運営協議会制度をどのように町に根付かせるか。基本理念の創り込みが重要。子どもの学びや育ちを中心に、対話と熟議を通じて、大人も地域も育つようにしたい。

(委員)

- 委員の選任については、「学校長の意思」を大切に、学校長と詰めて選任していただきたい。

(事務局)

- 委員の構成については、学校評議員の方が学校運営協議員になることが多い。校長の意思を応援できるような方の選任が必要。

次回、第3回日の出町コミュニティ・スクール創設準備連絡協議会は、杉並区立天沼小学校の視察を行い、同校の学校運営協議会の取組について具体的なお話を伺い、日の出町コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）づくりの参考にしていきたいと考えています。